2023-12-15

京都・大阪・奈良～7 泊 8 日の紅葉巡り～ その 3 奈良（1）

山本 雅晴

昨秋は奈良とその周辺の紅葉をやや忙しく探索した。今年はゆとりのある日程で散策する予定にした。

5 日目：11 月 29 日(水) ：28 日宿泊ホテル → 吉城園 → **二月堂・三月堂・手向山八幡宮** → **奈良公園** →ホテル → 今日宿泊のホテルへ → **志賀直哉旧邸宅** → **新薬師寺** → ホテル ：歩行距離 約 11 km

1．東大寺大仏殿西の柿の木

2．奈良公園の北、国際会館付近

3．志賀直哉旧宅の庭

4．新薬師寺の庭

5．若草山近辺の谷の茶屋

6．若草山の下方の入口付近

志賀直哉旧邸の横の道は何度か通ったが、中に入るのは初めてだった。そこから新薬師寺は近い、十数年ほど前に一度訪れているが当時とあまり変わらず、薄暗くみすぼらしい本堂に国宝の十二神将像が対坐していた。

6 日目:11 月 30 日(木) ： ホテル 10:00 → **若草山**周辺散策 11:40 → ホテル・チェックアウト → 本日の宿泊ホテルへ 12:30 → **浄瑠璃寺** → ホテル 17:00 ：歩行距離 8.5 km

浄瑠璃寺には 8 年半前の春に訪れたことがあり、当時と同じ近鉄駅前のバス停から浄瑠璃寺口経由で加茂駅行きのバスに乗った。浄瑠璃寺に行くと思って、十分確認せずに乗ったのが間違いであった。浄瑠璃寺口で降りようとして、運転手に確認したら、ここから浄瑠璃寺までは３～４ｋｍあるとのこと。JR 加茂駅まで行き、そこからコミュニティ・バスで行った方が良いということで、かなりの時間ロスであった。近鉄駅前から直接浄瑠璃寺行くバスは土・日しかないとのこと。しかし、ウィーク・デーの浄瑠璃寺は観光客が少なく、紅葉もきれいで十分楽しめた。今年の秋に東京国立博物館で「南山城の仏たち」の展覧会があり、そこで浄瑠璃寺の九体阿弥陀仏の一体と四天王の一体が展示されていた。うす暗い本堂内に国宝・重文の仏像が整然と並んでいた、本堂内は撮影禁止であるため、そこの出口で、写真家が撮った A-4 の九体阿弥陀仏の写真を買った。外の庭園は静まり返っていた、初冬の夕暮れでときたまロー・アングルの日差しに照らされる三重塔や紅葉は一際美しく厳粛な雰囲気だった。小一時間ほど散策したのち、去りがたい気持ちだったがコミュニティ・バス停に向かった。

7．本堂・九体阿弥陀堂(国宝)と庭園

8．本堂・九体阿弥陀堂(国宝)と庭園

9．三重塔(国宝)　薬師如来坐像を安置

10．彼岸から庭園を介して此岸の三重塔を臨む

11．鐘 楼

12．山門へのアプローチ